

メーテーを祝へ!!

五月一日が來た。メーテーが來た。彼女は一年タツタ一日俺達労働者の前に、その美しい姿態を見てくれる。俺達無產階級には花のやうに美しい彼女が笑つて迎へてくれる五月一日のみ、心の底から樂しむ事が出来るのだ、ナニ祭日も休日も澤山あるつて？併しそれ等は俺達労働者をば、休日なしに働かしてゐるのでは、彼等資本家が榨取する利潤が少ない、と云ふ理由から殘業や徹夜で縮のやうに疲れ切つた、俺達労働者の身體の疲勞を恢復さすべく彼等から與へられた工示ルギーの補給日に過ぎないのだ、俺達は他人から與へられた他人の爲めの祭日を祝ふたり、資本家の利益を多くする爲めの日曜をスキ腹抱へて、心から樂しめる筈がない。俺達はだ、俺達自ら創つた祭日のみ、心のドン底から祝ふことが出来るのだ。五月一日は實にその日なのだ、此日を外にして一年三百六十四日、俺達労働者が祝ふべき祭日は断じてないのだ。

メーテー、美しい彼女が俺達を迎へてくれる日こそは、全世界の労働階級が一齊に「お祝」を實施して、握手翠丸で遊んで喰つてゐる、アルジヨアの鼻先に、その腕の力の尊さを示す日である。俺達生産者が手を掛けば世界は忽ち暗闇になるぞ」と云ふことを定期にアルジヨアの耳に警告してやる事である。それは、すべての罪惡と不正の源泉である資本主義を崩解し、額に汗して働く無產階級のみ、すべての幸福を享樂することの出来る新社會の建設へ向つての、進軍の勢揃へをする日である。又俺達が歌ふ此日の歌は、その首途を祝ふ勇ましい進軍喇叭であらねばならない。

メーテーの歴史

五月一日が萬國の労働者の祝日となつたのは今より三十三年前の事である。即ち一八九〇年米國労働總同盟が全米國に亘つて八時間労働制を要求し、一日二十四時間の同盟労業を行つた時より始まる。そしてその後、米國のみならず歐洲各國の労働者が之に慣ふ事となつて爾來五月一日は萬國の全労働階級の共同祭日となつたのであつた。當時のメーテーの標識は未だ「八時間労働實施要求」の上に出てなかつた。今日から後は八時間以上労働くな

休憩の八時間！教育の八時間！

労働者は腰高らかに斯う唄ひ乍ら、街から街へ練り歩くのであつた。資本家輩は之を見て戦慄した。そして至る處の工場で八時間労働制が實施された。併しおれど同時に官憲の干涉も加はつて屢々労働者群と警官隊との衝突した。或

度手を掛けば、眞に世間は暗闇、人は餓死するより外ない事が十分に分るのだ。そして働かずして食り喰へる社會の寄生虫輩に、それを十分に知らしめてやる日が來た。プロレタリアのメーテーが來たのだ。彼女は日本の労働者の前に立つた。

メーテー解放の道に向つて進軍しある萬國の労働者よ、就中、永き忍耐より自覺たる日本神戸の團結せる組合労働者は左記の如きノログラムに依つて一九二三年の労働祭を祝ふ事となつた。

メーテーが來たのだ。彼女は日本の労働者の前に立つた。

今四度目の美しい姿を見せに來てくれた。俺達労働者よ、來つて五月一日を祝へ。メーテー

期して一齊に二十四時間の休憩の力に依つて、又二十四時間の「お祝」を實施する事に依つて、世界の大なるかを痛切に感せしめてやらうといふことがある。自由に乗り廻つてゐてこそ、電車、便運夫も、下女も、下男も、風呂屋の従業員の有難味が分らないが、二十四時間の「お祝」を實施することによつて、彼等に、眞に其有難味、その尊さを痛感せしめることが出来る。水道の工夫も、電燈會社の職工も、米屋の小僧も、郵便配達夫も、下女も、下男も、風呂屋の三助も、夫等の労働者が日夜忠實に働いてゐる間こそ、ホントの尊さが分らないが、彼等一

労働者の威力を示せ!!

メーテーの主旨は以上記す如く萬國の労働者がその自覺と團結と訓練の力に依つて、又二十四時間の「お祝」を實施する事に依つて、世界の大なるかを痛切に感せしめてやらうといふことにある。そこで、電車、便運夫も、下女も、下男も、風呂屋の従業員の有難味が分らないが、二十四時間の「お祝」を實施することによつて、彼等に、眞に其

タ

四

三

大坂支所